姜尚中　思索の旅 ―「1868～」〈18〉

社会の強さと弱さ暴く

第4章　天災という宿命　②

戦争にも匹敵

文豪・夏目漱石の旧制第五高等学校（現・熊本大学）の教え子で、物理学者として地震研究にも携わった寺田寅彦は、関東大震災（大正12年、1923年）の経験を踏まえて次のように警告を発していた。「どうかした拍子に檻（おり）を破った猛獣の大群のように、自然があばれ出して高楼を倒壊せしめ堤防を崩壊させて人命を危うくし財産を滅ぼす。その災禍を起こさせたもとの起こりは天然に反抗する人間の細工である」（『天災と国防』）と。

「天然に反抗する人間の細工」。地震の「運動エネルギーとなるべき位置エネルギーを蓄積させ、いやが上にも災害を大きくする」のは、実はこの「天然に反抗する人間の細工」にほかならない。その最たるものが、あの福島第1原発事故の惨状であるとすると、地震という天災は、実は私たちの社会の強さと弱さを暴き出しているのである。震災という非常時を通じて露（あら）わになる平時の地域と社会、そして国家の「本性」。その強さと弱さ、そして人のそれぞれの生と死。大震災は、戦争にも匹敵する強度をもって私たちに問いかけずにはおかない。「汝（なんじ）らはどんな生き方をし、どんな社会を築いているのか？」と。

心に癒えぬ傷

震災からほぼ1カ月の5月15日、熊本県内の被災状況は、死者49人、震災関連死19人、行方不明1人、負傷者1664人、住宅8万4817棟、避難所235カ所、避難者1万434人、断水約2400世帯。農林水産業の被害額も、熊本県だけで1千億円を超え、その被害とダメージは、住民ひとりひとりの心身に簡単には癒やせない傷痕を残しつつある。

地震の強度、連鎖と執拗（しつよう）な連続性、そしてその被害の大きさという点で、熊本震災は確かに想定外の震災と言える。しかし、決してそう断定していいわけでもなさそうだ。なぜなら、すでに明治22（1889）年、漱石来熊のわずか7年前、マグニチュード6・3の大規模直下型地震が熊本を襲い、20人が死亡、数百棟が全半壊し、熊本城も大きな被害を受けているからだ。

「前震」に襲われた4月14日の前日、熊本市内は漱石来熊120年に沸いていた。私もまた、120年を祝うセレモニーの一翼を担うことになっていた。しかし、漱石の来熊の7年前、日本の地震学会が発足（1880年）してはじめて都市（熊本）を襲った内陸直下型地震が起き、それはドイツのポツダムの重力計に地震波として記録され、遠隔地の地震観測のキッカケをつくっていたのである。

「明治」忘れる

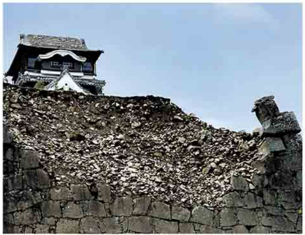
「天災は忘れた頃に来る」とは寺田寅彦の警句といわれている。その意味で言えば、熊本は「明治熊本地震」を忘れていたのである。それは、寺田が言うように「健忘症」のなせるわざなのか、それとも日進月歩に進化する「人間の細工」が、過去を忘却させるのか。

しかし、それでも、5年前の東日本大震災、そして20年余り前の阪神・淡路大震災を忘れるわけにはいかない。実際、4月14日の来熊の直前まで、私は本連載の次のテーマを「震災」にしようと、淡路島と神戸を訪れ、震災と復興、その後の神戸の歩みをこの目で確かめたいとかつての被災の「現地」を歩いていたのだ。「すべてのわざには時がある」と言うべきか。

それでは、あの阪神・淡路大震災から何が見えてくるのか。思索の歩みはそこから始まる。

（カン・サンジュン、政治学者・熊本県立劇場館長）

＝次回は12日掲載


石垣が大きく崩れた熊本城

文　化

世界を翔（かけ）るタクト ―山田　和樹 ＜16＞

“お国もの”演奏の極意

相手の音楽に敬意払う

フランス音楽は豊かな色彩が魅力です。作曲家では、ドビュッシーやラベルが有名ですが、ベルリオーズも忘れてはいけません。彼の「幻想交響曲」は、フランス音楽を代表する作品で、フランスのオーケストラの十八番として、海外ツアーで頻繁に演奏されます。

楽団員は「譜面を見なくたって演奏できる」と言いますが、本当にそうなのでしょう。リハーサルなしで本番にのぞめるくらい定着しています。

♯　♯　♯

僕がこの作品を初めてプロのオーケストラで指揮したのは、なんとパリ管弦楽団。以前から共演を重ね、良好な関係でしたが、「幻想交響曲」のリハーサルを始めた途端、それまでと全く違う空気が場を支配しました。熱を帯びているというよりは、冷めた空気。フランス音楽の代名詞とも言える作品で、リハーサルなんていらないと思っている楽団員に、日本人の僕があれやこれやと指示するわけで、ある種の難しさがありました。

当時は僕も海外に出たばかり。「負けてはいけない」と一歩も引かず、そのときの本番を「年増オーケストラと若手指揮者による、血みどろの闘い」と形容した楽団員もいました。でも、本番の輝きを僕は一生忘れません。信じられないような豊穣（ほうじょう）な響きが僕の体を包んでいたのですから。

それ以来“お国もの”を演奏するときは緊張するようになり、作戦を練ることにしました。

♪　♪　♪

次にフランスで「幻想交響曲」を指揮したのは、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団。初共演で相手の様子も事前に分かりません。最初のリハーサル、僕は「何も」しませんでした。ただ、相手を受け入れることに専念したのです。曲を通しで演奏し、思ったままに「素晴らしい」と言って、その日を終え、次の日から少しずつ、自分の思いを乗せていくことにしたのです。

楽団員はこの演奏会をいまだに話題にしてくれます。以来、トゥールーズと共演するプログラムのほとんどがフランス音楽になりました。

まず、相手の音楽に耳を傾けること、それは相手を尊敬すること。フランス音楽を尊敬する姿勢は、そのままフランスを尊敬していることにつながると気付きました。

世界各地で“お国もの”を演奏するときに大切にしているスタンスです。

（指揮者、仙台フィルハーモニー管弦楽団ミュージックパートナー）

＝月1回掲載

イラスト　小澤一雄

アジアの若手演奏家 共演へ

サントリーホール室内楽アカデミー

シンガポールの音楽院と交流

次代の若手演奏家を育てる目的で開設された「サントリーホール室内楽アカデミー」が、アジアの有力な音楽教育機関の一つ「ヨン・シュー・トー音楽院」（シンガポール）と交流プロジェクトを始めた。10日には東京・赤坂のサントリーホールで共演の演奏会を開く。

ヨン・シュー・トー音楽院は、シンガポール国立大の音楽学部にあたる。東南アジア有数のホールを持つ総合文化施設「エスプラネード」と深い関わりを持つなど、アジアの音楽教育で中心的役割を果たす教育機関の一つだ。サントリーホールとエスプラネードの協力関係の下、今回のコラボレーションが実現した。

今回は、両教育機関から選抜された18人のメンバーが参加。室内楽アカデミーのメンバーの一部は、出場自体が難しいバンフ国際弦楽四重奏コンクールへの参加も決まっている若手有望株だ。

演奏会は、サントリーホール恒例の室内楽音楽祭「チェンバーミュージック・ガーデン」の一環で午後2時半から約3時間の特別コンサートとして開かれる。

ナショナル・ギャラリー・シンガポールで５月に開かれた、ヨン・シュー・トー音楽院とサントリーホール室内楽アカデミーの選抜メンバーによる演奏会

仙台フィル

第302回定期演奏会

若き才能 ハイドンに挑む

【日時・会場】7月15日午後7時、16日同3時、仙台市青年文化センター（青葉区）

【曲目】ボッケリーニ「マドリードの夜の帰営ラッパ」（ベリオ編）、ハイドンの「交響曲第8番『夕』」「トランペット協奏曲」、エルガー「変奏曲『エニグマ』」

【指揮】下野竜也さん（京都市交響楽団常任客演指揮者）

【客演】フロリアン・ピヒラーさん（ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団奏者、トランペット）＝写真＝。

【聴きどころ】選曲の妙が楽しめる。ピヒラーさんは2014年9月に19歳でベルリン・フィルの正式メンバーに抜てきされた。若い優れた才能が、ハイドンの変化に富んだ曲をどう演奏するのかに注目したい。下野さんがエルガーの代表作を深い解釈に基づいた緻密な指揮で挑む。

【入場料】S席一般5000円、ユース（24歳以下）2000円、A席一般4500円、ユース1500円、Z席2000円

【連絡先】仙台フィルサービス022（225）3934

---

culture

シェークスピア代表５作品 ハイライト 東北弁で熱演

仙台の劇団 18日公演

仙台市の劇団シェイクスピア・カンパニーは18日、代表的なシェークスピア作品のクライマックスシーンを紹介する特別公演を仙台市青葉区の仙台国際センターで行う。

日本翻訳者協会が主催する英日・日英翻訳国際会議の一環。劇団を主宰する下館和巳東北学院大教授の基調講演と特別公演は市民も参加できる。

劇団はシェークスピア劇の舞台を東北に置き換え、東北弁のリズム感を生かした公演を20年以上続ける。基調講演で下館教授が東北弁を使う狙いや原作を翻案する過程を解説。過去に上演した４大悲劇「ハムレット」「オセロ」「マクベス」「リア王」に加え、「ベニスの商人」の計5作品についてハイライトシーンを再現する。上演時間は約1時間。

参加者は午前9時20分までに入場する。入場料は２０００円。劇団のホームページから申し込む。締め切りは10日。

連絡先は劇団の広報部長浅見さん０９０（７６６３）０２５６。

短信

◆短歌研究賞に三枝さん　第52回短歌研究賞（短歌研究社主催）は、三枝浩樹さんの「二〇一五年夏物語」31首に決まった。賞金は50万円。授賞式は９月16日、東京都千代田区の如水会館で。

三枝さんは1946年甲府市生まれ、山梨県甲斐市在住。「沃野（よくや）」代表。歌人の三枝昂之さんは兄。

県からのお知らせ

©宮城県・旭プロダクション

※日程や申し込み方法など、各お知らせのより詳しい内容は問にお問い合わせください。アドレスを掲載しているお知らせは、ホームページにも詳しい情報があります。
※東日本大震災に関する各種制度および相談窓口などの情報は、データ放送（NHK総合、ミヤギテレビ）で配信しています。

火薬類取扱保安責任者（甲種・乙種）・火薬類製造保安責任者（丙種）試験

●試験日／9月4日（日）
●試験会場／宮城県建設産業会館（仙台市）
●願書／宮城県火薬類保安協会、宮城県建設業協会支部、県消防課、各消防署で配布
●願書受付／6月21日（火）～30日（木）
問 全国火薬類保安協会宮城県試験事務所
☎022（225）0931
問 県消防課 ☎022（211）2377

みやぎ花のあるまちコンクール参加者募集

花づくりや緑の育成を通じて、地域づくりや人々との交流を行う団体を募集します。
●対象／地域や職場などの団体
●応募方法／応募用紙に必要事項を記入し、花づくりや緑の育成をしている状況が分かる写真を添えて9月16日（金）までに持参（土日・祝日を除く）または郵送（消印有効）により下記へ
●応募用紙／下記ホームページからダウンロードもしくは郵送により提供
※入賞した団体には、賞状および商品券が贈られます。
問 すばらしいみやぎを創る協議会事務局（県共同参画社会推進課内）
☎022（211）2576
〒980-8570（所在地記載不要）
共同参画社会推進課
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/subamiyaindex.html

政策評価・施策評価等に関する意見募集

県では、平成27年度に実施した政策・施策の評価等に関する資料を公表し、県民の皆さんのご意見を募集します。
●資料公表場所／県政情報センター、各地方振興事務所（仙台を除く）県政情報コーナー、県議会図書室（県議会庁舎）、下記ホームページ
●提出方法／6月27日（月）までに、郵送（消印有効）、ファクシミリ、Eメールのいずれかで下記へ
問 県震災復興政策課
☎022（211）2406　FAX022（211）2493
Eメール seisakuiken@pref.miyagi.jp
〒980-8570（所在地記載不要）
震災復興政策課
http://www.pref.miyagi.jp/site/hyoka/28sei-ikenboshu.html

聴覚障害者のための「よくわかる障害者差別解消法」講話

見た目では分かりにくい聴覚障害を、周囲にどう伝えたらよいかをはじめ、障害者差別解消法の概要や合理的配慮を学びます。
●日時／6月13日（月）午後1時30分～3時
●場所／宮城県聴覚障害者情報センター（仙台市）
●対象／聴覚障害者の方とその家族など
●申し込み・費用／不要・無料
問 宮城県聴覚障害者情報センター
☎022（393）5501 FAX022（393）5502
Eメール info@mimisuppo-miyagi.org
問 県障害福祉課 ☎022（211）2542

戦没者慰霊巡拝参加者募集

県では、先の大戦で亡くなられた方々の国主催の慰霊巡拝に、参加を希望するご遺族を募集し、国への推薦を行っています。
●巡拝地域・時期／①フィリピン・平成29年2月（10日間）②硫黄島（第2次）・平成29年2月（2日間）ほか
●対象者／慰霊巡拝を行う地域における戦没者の遺族のうち、配偶者（再婚した者を除く）、父母、子、兄弟姉妹、子および兄弟姉妹の配偶者（夫婦での参列に限る）、孫、おい、めいの方
●申込期限／①10月7日（金）②10月31日（月）ほか
問 県社会福祉課 ☎022（211）2563

「夏休み親子工作教室」参加者募集

親子でモノづくりの楽しさを体験できる工作教室を開催します。
●内容／「かってにクネクネ走るカー」の製作
●対象／小学校4～6年生の親子・各回20組（先着順）
●開催日時／①7月23日（土）午前10時～正午②23日（土）午後1時～3時③24日（日）午前10時～正午④24日（日）午後1時～3時
●会場／トヨタ東日本学園（大衡村）駐車場有り
●費用／無料
●募集期間／6月6日（月）～7月8日（金）までに、はがき（消印有効）、ファクシミリまたはEメールに、参加者氏名（親子）、子の学年、郵便番号、住所、電話番号、希望日時（第1希望～第4希望）を明記し下記へ
問 県産業人材対策課
☎022（211）2764 FAX022（211）2769
Eメール sanzinp@pref.miyagi.jp

みやぎカーインテリジェント人材育成センター研修の受講者募集

自動車関連業界や自動車技術への理解を深める研修を開催します。
●対象／東北の大学・専門学校などの学生
●期間／8月9日（火）～9月2日（金）
●場所／仙台市戦災復興記念館ほか
●講師／自動車の開発・設計に携わるメーカーの技術者など
●費用／無料
●申し込み／7月15日（金）までに下記ホームページからお申し込みください
問 県自動車産業振興室 ☎022（211）2724
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jidousha/car-intelli28.html

第2期宮城県教育振興基本計画策定に関する圏域別意見交換会

第2期宮城県教育振興基本計画の策定に当たり、地域の教育の現状や課題を把握するとともに、宮城の教育が目指す方向性や計画素案などについて、学校や地域の団体などと話し合う、意見交換会を開催します。意見交換会は傍聴することができます（事前申し込み不要）。
●期日・場所／6月11日（土）気仙沼、12日（日）仙台・大河原、19日（日）大崎・栗原　各合同庁舎
※各圏域の会場や時間、傍聴者の定員については下記ホームページをご覧ください。
問 県教育庁教育企画室 ☎022（211）3616
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyou-kikaku/

風営適正化法および同法施行条例の改正・施行について

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律および同法施行条例が改正され、6月23日から施行されます。これにより、深夜に客にダンスなどの遊興をさせ、かつ、酒類を伴う飲食を提供する場合「特定遊興飲食店営業」として許可が必要になります。また、ゲーム場などの16歳未満の入場時間について、新たに午後6時から8時前までの保護者同伴規定などが設けられております。

詳しくはホームページをご覧いただくか下記までお問合せください。
問 県警察本部生活安全企画課 ☎022（221）7171
http://www.police.pref.miyagi.jp/hp/seian/kyoninka/

宮城県警察官A（大卒・大卒見込）採用試験・選考考査

●職種・採用予定人員／①男性一般・85人程度②男性武道指導・5人程度③女性一般・15人程度④女性武道指導・2人程度⑤サイバー捜査官・3人程度⑥財務捜査官・2人程度
●申込受付期間／6月17日（金）まで
●第1次試験日／7月10日（日）
●受験申込書／県内各警察署などで配布
問 県警察本部警務課　☎0120（204）606
〒980-8410 仙台市青葉区本町3-8-1
http://www.police.pref.miyagi.jp/hp/keimu/police/

※「みやぎ県政だより」5月・6月号18ページ「お出かけガイド」に掲載した「第28回多賀城跡あやめまつり」の日程に誤りがありました。お詫びして訂正します。
【訂正前】6月24日（金）～7月5日（火）
【訂正後】6月18日（土）～7月2日（土）

宮城県循環型社会形成推進計画（第2期）を策定しました！

リスタート！ みやぎの3R -リデュース・リユース・リサイクル-
～もう一度！ 循環型社会の形成のために明日への一歩を踏み出す願いを込めて～

Reduce
リデュースは、無駄なものをもらったり買ったりせず、ごみとなるものを【へらす】
Reuse
リユースは、ものを大切に【つかう】
Recycle
リサイクルは、ごみを分別して資源へ【もどす】

県では、平成28年3月に循環型社会形成推進計画（第2期）を策定しました。この計画では、平成28年度から平成32年度までの5年間で、目指すべき循環型社会のための施策を展開することとしています。

- 全ての主体の行動の促進
- 循環型社会を支える基盤の充実
- 循環資源の3R推進
- 廃棄物の適正処理

4つの基本方針を柱として、総合的かつ計画的に取り組んでいきます。

!6つの重点課題
従来からの課題に加えて、震災の影響や法律の改正などに伴い、新しい課題が見えてきました。この中で特に優先すべき課題を重点課題としました。

① ごみの分別などの環境配慮行動の推進
② 小型電子機器などのリサイクル制度の推進
③ 食品廃棄物などのリサイクルの推進
④ 放射性物質が付着した廃棄物処理の推進
⑤ 震災経験を生かした災害廃棄物処理計画の策定
⑥ 不法投棄防止対策の推進

東日本大震災により後退していた3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取り組みを再始動させ、もう一度みんなが手を取り合い、連携して循環型社会を形成しましょう。

計画（第2期）は、県循環型社会推進課のホームページでご覧いただけます。「県民として」「事業者として」「民間団体として」「教育研究機関として」「行政として」それぞれの課題に対して、各主体の取り組みおよび目標について、ぜひご覧ください。

©宮城県・旭プロダクション

問 県循環型社会推進課　☎022（211）2649
Eメール junkanr@pref.miyagi.jp　http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/

企画／県広報課